

4/26 (日) 15:00～ チャペルコンサート vol.37

入場無料

再び実現しました。教会の礼拝堂ならではの味わいをお楽しみ下さい。



畑 儀文 (テノール)

兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。1979年大阪にて、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後宗教曲のソリストとしてドレスデン国立歌劇場管弦楽団ホルン奏者ペーター・ダム氏との共演、イエルクデームス氏の伴奏による数多くのリサイタル等で大きな成果をおさめた。91年オランダ・アムステルダムにおいてバロック歌手マックス・ファン・エグモントのもとで研鑽を積み、以後13年間オランダ各地でバッハの受難曲のエヴァンゲリストをつとめた。「大阪文化祭賞」「咲くやこの花賞」「兵庫県文化賞」など受賞。丹波の森国際音楽祭シューベルディアたんば音楽監督。

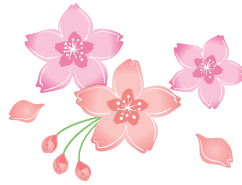


安田 哲也 (オルガン)

オルガンを津田能人氏、太宰まり氏、フランス・ボーン氏、ゴードン・ターク氏に、リードオルガンを故曾山一夫氏に師事。畑儀文氏出演の「フライブ」(サンTV)にて、同氏の伴奏を担当する。また、2005、06年、兵庫県立芸術文化センターにて行われたコンサート「畑 儀文 日本のうた」にて、リードオルガンでの同氏の伴奏を担当する。以後、同氏のオルガン伴奏を多く担当する。日本基督教団東梅田教会奏楽者。神戸ユニオンチャーチ奏楽者。

演奏予定曲目 ※曲目は当日変更することがあります。

G.ヤング 「古典的な様式による 前奏曲」 ドイツ民謡 「ローレライ」
J.S.バッハ コラール前奏曲 「愛するイエスよ」 F.シューベルト 「夜咲きすみれ」
J.ブラームス 「前奏曲とフーガ イ短調」 「君こそやすらい」
アイルランド民謡 「春の日と花と輝く」 A.ドボルジャーク 「聖書の歌」



キリストを現代に伝える人たち～高山右近～

高山右近は、1552年、摂津の国高山(現在の大阪府豊能郡)に生まれ、父友照の影響で12歳のときに洗礼を受け、21歳の若さで高槻城の城主となりました。

彼は、武将としての手腕もさることながら、その人柄で多くの人を魅了したと言われています。幼い頃からキリスト教の精神の中で育った彼は、真面目で、品行方正な性格でした。領内の貧しい人へは施しをし、病に伏せる人へは見舞いをしました。あるとき、ある貧しい人が亡くなった際、彼は率先して棺を担いだと伝えられています。このように、自らの姿勢をもってキリスト教の愛を実践する彼の姿は、多くの人々の胸を打ちました。領民は彼を慕い、キリスト教の教えに喜んで耳を傾けました。そして、次々に洗礼を受け、1年間に4000人もの方が洗礼を受けました。領民の72%がクリスチャンだったとも言われています。

今年は彼の没後400年となりますが、今なお、彼の生き様は語り伝えられ、多くの方の心を魅了し続けています。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com

http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。

インフォメーション

5/31 (日) 16:00～ 入場無料
チャペルコンサート vol.38
ハープ奏者・春木 浩子さん

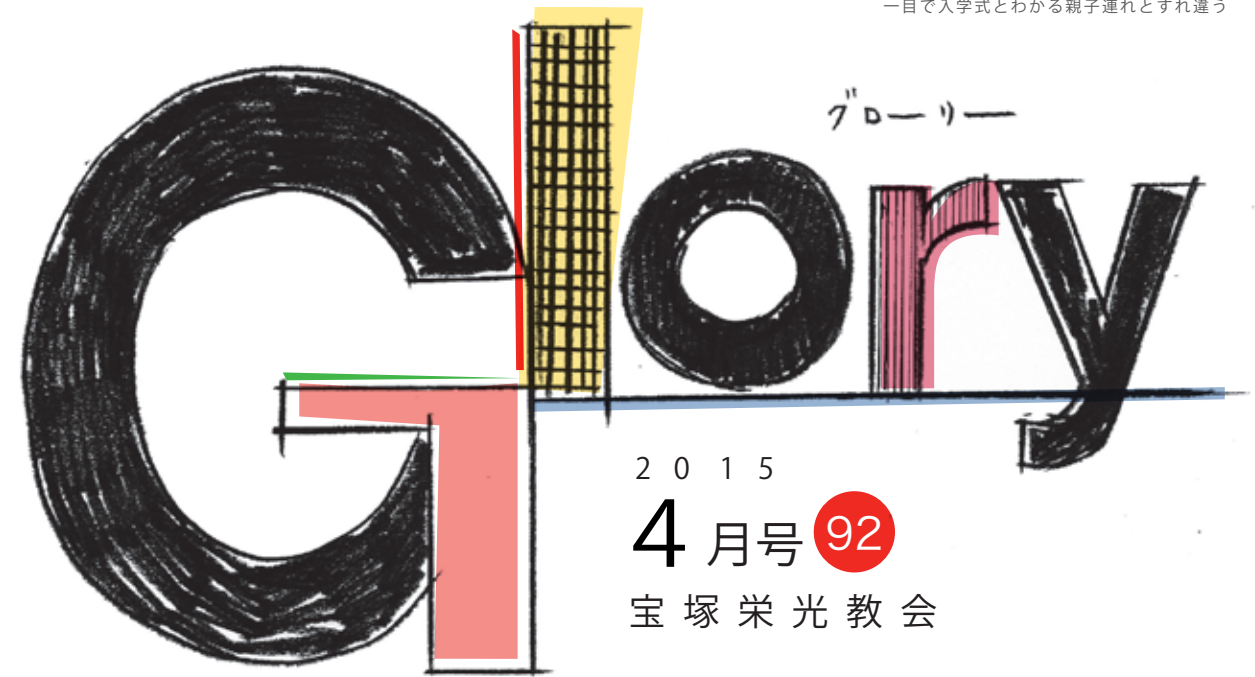
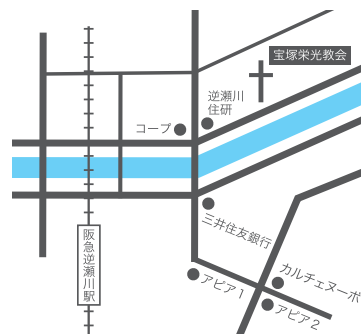
インフォメーション

5/17 (日) 14:00～ 入場無料
「高山右近の偉業」講演会
講師：パウロ 内池 滋 氏
(関西地区ユスト高山右近
列福活動推進委員)

ケアプラン デイサービス

オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」 ☎:0797-73-6055
「デイサービス オリーブの実」 ☎:0797-73-6077
お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



復活の希望に生きる

イースター、おめでとうございます。イエス様が墓の中からよみがえられたことを、心からお祝いしましょう。

なぜイースターをお祝いするのでしょうか。それは、イエス様が復活されたことによって、私たちに大きな希望が与えられたからです。

イエス様は十字架に付けられて死なれ、墓に葬られましたが、神の子イエス様は、死んでそのまま終わってしまうようなお方ではありませんでした。3日目に墓の中からよみがえられました。イエス様は死の暗闇を打ち破って、復活されたのです。

人はだれでもいつかは死にます。そして死は、多くの場合、何の予告もなしにやってくるものです。私たちは絶えず死の危機に面していると言っても、過言ではないでしょう。

死んだらどうなるかは、誰にも分かりません。死んで帰ってきた人は、まだ誰もいないからです。死の向こうに何があるか、それは、厚いベールに被われています。ですから、死ぬのはこわいのです。

しかし、イエス様はこの死の問題に解決を与えてくださいました。イエス様は言われました、「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」(ヨハネの福音書11章25、26節)

私たちの罪のために十字架にかかって死に、よみがえられたイエス様を信じるなら、いつまでも死なない永遠の命が与えられるという約束です。この肉体は朽ち果てますが、魂は新しい命によって永遠に生かされ、天国に行けるのです。

死人の復活なんてバカバカしくて信じられないと思われるでしょうか。しかし、死に対する勝利は、イエス様の復活を信じるところにこそあるのです。そして、死の問題が解決したところに、人間らしい、生き生きした本当の生き方が開かれてくるのです。あなたも、よみがえりのイエス様を信じて、勝利ある人生を送られませんか。



「早春の花」

山葵(わさび)が 白い花をつける季節が やって来た
小さな 清楚な花の姿に
見るものを 引きつけて 離さない

花言葉は 「めざめ」
まさしく 冬から春へ 向かう者たちへ つきつけることば
わさびは 深い山の溪流のほとりや
涼しい谷川の浅瀬に 自生する

水の濁りを嫌う わさびは
一年を通して 水温16℃を越えない
冷たく 透き通る水で 育てられていく
雪解けの冷たい水が 湧水として あふれる場所で
今は 栽培されている

春 山菜が並ぶ この頃
近所の 八百屋の店先にも この時期だけ出回る
花のついた わさびの茎を 紐でひと束ねにして かごに乗せている
おひたし 和え物 天ぷらなどで食べる

春に欠かせない 貴重な食材である
食卓に あの つーんとする香りと 歯触りで
春の訪れを 告げる 早春限定の 美味しさ

彼は 水のほとりに植えられた木
水路のほとりに 根を張り
暑さが襲うのを 見ることなく
その葉は 青々としている
干ばつの年にも 憂いがなく
実を結ぶことを やめない

(聖書)